

豊島区地域子ども教室の実施について

(文部科学省委託事業平成16年度～18年度)

報告資料
子ども文教委員会
17・7・8
教育委員会教育総務課
区民部文化デザイン課

1 目的

地域の子どもたちが、放課後や土日に安全・安心に活動を展開できる環境を醸成する。この事業は、単なるイベント的なものだけでなく、地域のおとななど、いろいろな人とかわりあいながら、その後も継続的・自発的に子どもたちがいきいきと活動できるように仕組みづくりをしていく。

2 実施期間

平成17年7月～平成18年3月
概ね 週2回を26週で行う(計52回)

3 実施内容

- 全児童クラブ実施の6箇所(巣鴨、西巣鴨、朝日、高松、さくら、南池袋小学校)で地域子ども教室を実施する。
- 全児童クラブに設置する「子ども部会」を地域こども教室実行委員会と位置付ける。
- コーディネーターを各地域子ども教室に配置し、地域子ども教室事業にボランティア等として登録いただいた人材と協力して事業を展開する。
- 委託事業費 13,640千円(地域子ども教室6箇所総計) 直接、実行委員会へ振り込まれる。

①子どもスキップ事業

放課後や学校休業日に小学生が自主的に参加することを基本として、小学校の施設の一部を遊び場・交流・学びあいの機会と活動の場を提供し、児童の健全育成に資することを目的としている。

- ・ バトンとポンポンなどを使用したダンス
- ・ パソコンクラブ
- ・ コンサート
- など

②教育委員会独自の新規事業

プロの技術をもつ専門の講師を招いて親子とも参加できる機会もつくりながら、委託期間経過後もスキップ活動への参加の呼び水にするなど一過性に終わらせない工夫をしていく。

- ・ NPO 法人との連携による異文化交流会の開催
- ・ 野球教室の開催など各地区のスポーツ少年団との連携
- ・ 区内大学サークル・ゼミ(立教、学習院、東京音大、大正、川村)との連携など

※地域子ども教室に参加を希望する児童は事前に子どもスキップへの登録を済ませることが必要になる。

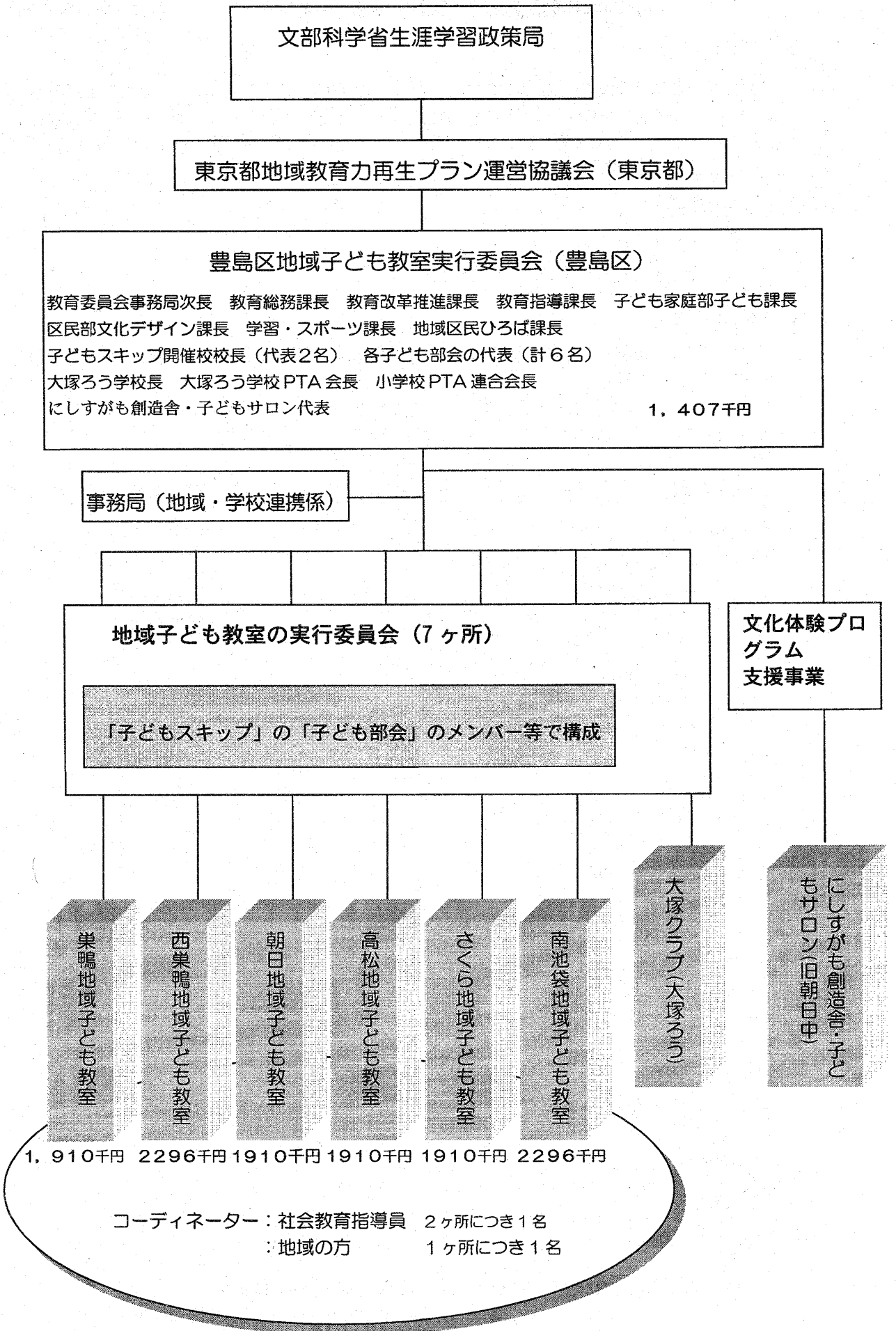
4 組織図

裏面参照

5 事務局

豊島区教育委員会事務局 教育総務課地域・学校連携係 七尾
電話 03(3981)1111 内線3487

組織図(案)



文化体験プログラムの実施について

1. 目的

将来の文化芸術を担い子どもたちの想像力や情緒性を育み、創造性を養うとともに、親子関係の安定やコミュニティの醸成を図る。

2. 実施期間・回数

平成 17 年 9 月～平成 18 年 3 月
15 回（期間内月 2～3 回程度）

3. 事業概要

①プログラム名：「としま絵本プロジェクト」

②対象：主に幼児（就学前児童）とその保護者

③場所：にしすがも創造舎（旧朝日中学校）、南大塚児童館、高松児童館、
長崎第一児童館

④内容：

(1)アートワークショップの開催…絵本や童話を題材としたワークショップを開催

○絵本・童話作家と子どもたちの交流体験
新進の作家らによる読み聞かせ

○絵本づくりワークショップ
子どもたちの表現力を伸ばすための簡単な絵本づくり

○「赤い鳥」等の地域文化資源を題材としたワークショップ
子どもの五感を刺激するため、「赤い鳥」を題材に音響・照明等の演出効果を活用しながら演劇等を行う。

(2)区民交流の場「子どもサロン」の設置

にしすがも創造舎に区民交流の場を設置。教材の絵本や童話を置き、施設開放時にはスタッフを常駐、子どもたちのサポートを行う。
さらに、ワークショップのプログラム開発を行う。

⑤指導者

広井法子（絵本作家・画家）、青木貴子（絵本作家）、福島サトル（童話作家）、
高山佳子（童話作家）、港大尋（音楽家）、鈴木潤（音楽家）、
山中正哉・柳澤明子（脚本家・演出家）、倉迫康史（演出家）、小倉淳（造形作家）
ほか計 20 名

4. 事務局

区民部文化デザイン課
NPO 法人 芸術家と子どもたち